

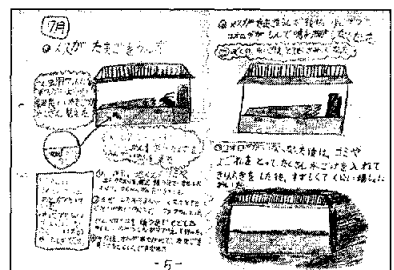
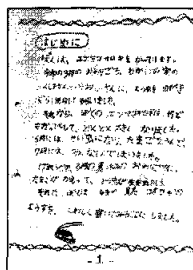
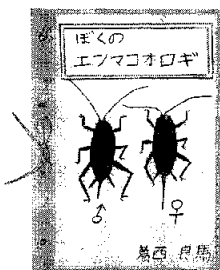
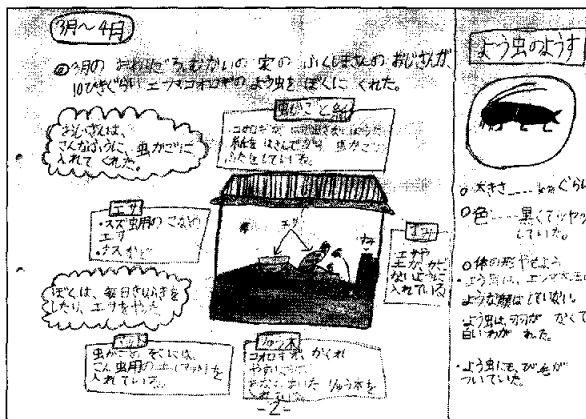
第17回 夏休み自然観察記録コンクール

- ◇募集 8月2日(月)～9月15日(休)
- ◇応募 北海道内の小学校、34校から101点
- ◇入選 入賞9点、佳作20点、学校賞3校
- ◇審査委員 伊達佐重 (審査委員長、北海道自然保護協会理事)
佐藤 謙 (同協会会長) 在田一則 (同副会長)
福地郁子 (同常務理事) 江部靖雄 (同常務理事)
横山武彦 (同理事) 堀 繁久 (北海道開拓記念館学芸員)
中井悦生 (北海道新聞野生生物基金事務局長)
- ◇主催 (社)北海道自然保護協会
財北海道新聞野生生物基金
北海道新聞社

第17回夏休み自然観察記録コンクール(北海道新聞野生生物基金、北海道自然保護協会など主催)の審査会が9月28日、北海道自然保護協会内で行われ、入賞、佳作合わせて29点と学校賞3校が決まった。最高賞の金賞には道教育大付属釧路小2年の葛西良馬君の「ほくのエンマコオロギ」が選ばれた。

その他の入賞、佳作、学校賞は以下の通り。(敬称略)

- ▽金賞 葛西良馬(道教育大付属釧路小2年)「ほくのエンマコオロギ」
- ▽銀賞 多田遥(札幌市大倉山小2年)「うちのかたつむり」、中崎千尋(札幌市北都小5年)「秘密の場所のキイチゴ」
- ▽銅賞 吉田峻太郎(倶知安町西小1年)「夜の虫」、池田武蔵(札幌市大倉山小3年)「日本海と太平洋の貝のちがいが」、高橋佳也(滝川市第一小4年)「オニクワガタの観察」、奥田直(栗山町角田小4年)「オニヤンマヤゴ・ヨシノボリ」、三井結(札幌市真駒内緑小5年)「豊平川の旅」、西川大喜(札幌市大倉山小6年)「蝶の標本作り」
- ▽佳作 田中謡子(小樽市若竹小1年)、多田蒼(札幌市大倉山小1年)、関根晴紀(札幌市西岡小1年)、新田綾音(札幌市西岡南小2年)、細野暉紘(鶴居村鶴居小2年)、中崎幹太(札幌市北都小2年)、佐藤帆(札幌市大倉山小2年)、櫛田健志郎(札幌市大倉山小2年)、櫛引秀斗(札幌市大倉山小2年)



金賞 葛西良馬さん(道教育大付属釧路小2年)「ほくのエンマコオロギ」

小2年)、岸本隆之介(札幌市真駒内緑小2年)、佐藤愛純(札幌市大倉山小3年)、平田祐希生(札幌市大倉山小3年)、吉川貴一朗(札幌市大倉山小3年)、松浦里紗(札幌市真駒内緑小3年)、生沼太朗(登別市若草小4年)、泉亭奏良(札幌市旭小

4年)、吉田楓香(札幌市真駒内緑小4年)、藤田景也(札幌市真駒内緑小4年)、青木星(釧路市興津小5年)、岸本健(札幌市真駒内緑小5年)
▽学校賞 札幌市大倉山小、札幌市真駒内緑小、栗山町角田小

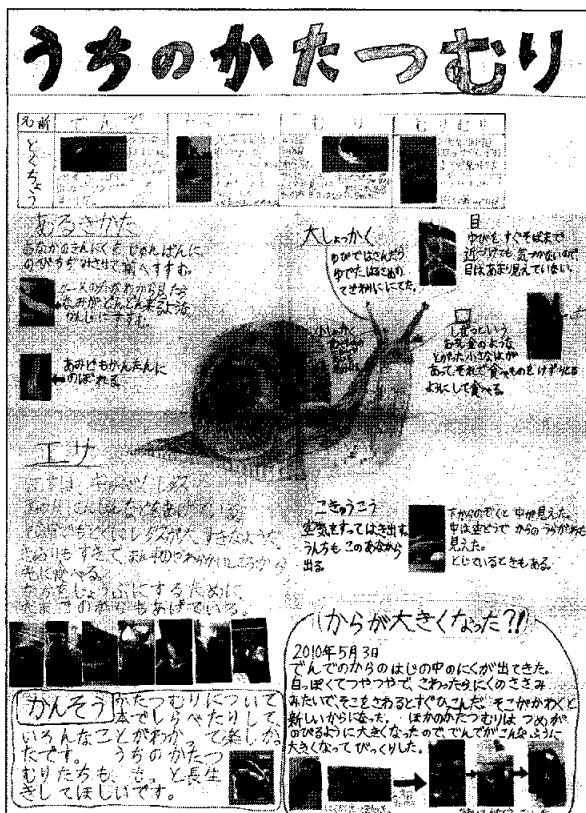
目的からはずれない作品を

審査委員長 伊達佐重

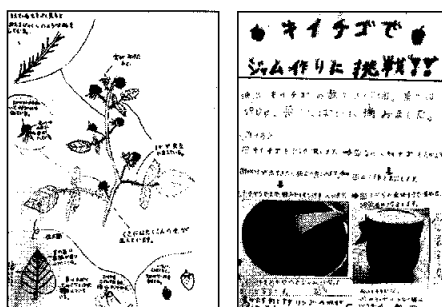
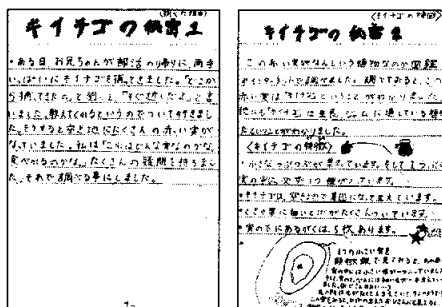
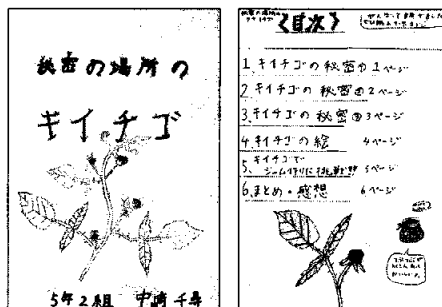
このコンクールが目ざしているものがあります。身の回りの生き物である動物や植物の様子をしっかりと観察し、見たまま感じたままを絵や文にしてみるということです。ですから、インターネットや図鑑だけの資料でまとめた作品は、ねらいからはずれてしまいます。実験中心の作品もそうです。

金賞の葛西良馬さんは、エンマコオロギを6か月飼ひ続け、細かい事も見逃さないぞというやる気がよい作品を生みました。銀賞の多田遥さんは、カタツムリの写真に的確な説明を加えてまとめました。中崎千尋さんは、キイチゴだけにこだわって調べ続け、ジャム作りにも挑戦して成功しました。鉛筆画のスケッチも上手です。銅賞の高橋佳也さんは、オニクワガタを細かい部分まで描き

きっている点が抜群です。奥田直さんは、オニヤンマのやごとヨシノボリを線画に着色した手法が新鮮でした。三井結さんは、豊平川の上流から下流まで丹念に歩いてまとめた労作でした。吉田峻太郎さんは、夜の森にうごめく虫たちの姿を想像して描くという意表をついた点が評価されました。西川大喜さんは、蝶の標本作りを基本通りのやり方でまとめて、きれいな仕上がりでした。池田武蔵さんは、同一種なのに産地によって貝がらの形が違うらしいという点に目を付けました。思いつきの良さです。



銀賞 多田遥さん(札幌市大倉山小2年)
「うちのかたつむり」



銀賞 中崎千尋さん(札幌市北都小5年)
「秘密の場所のキイチゴ」